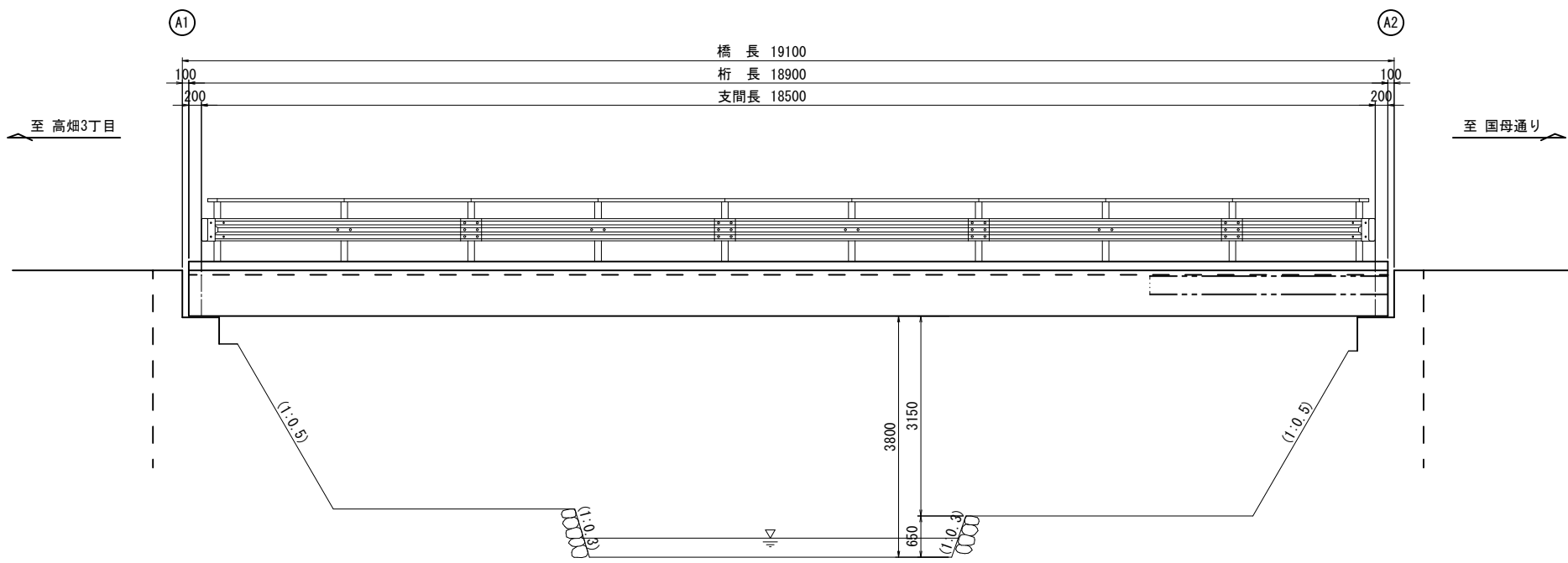
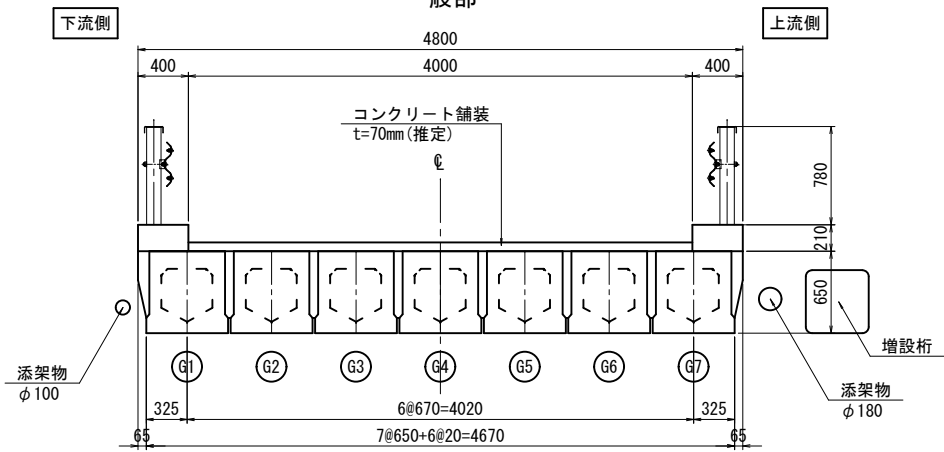


手引橋 橋梁一般図

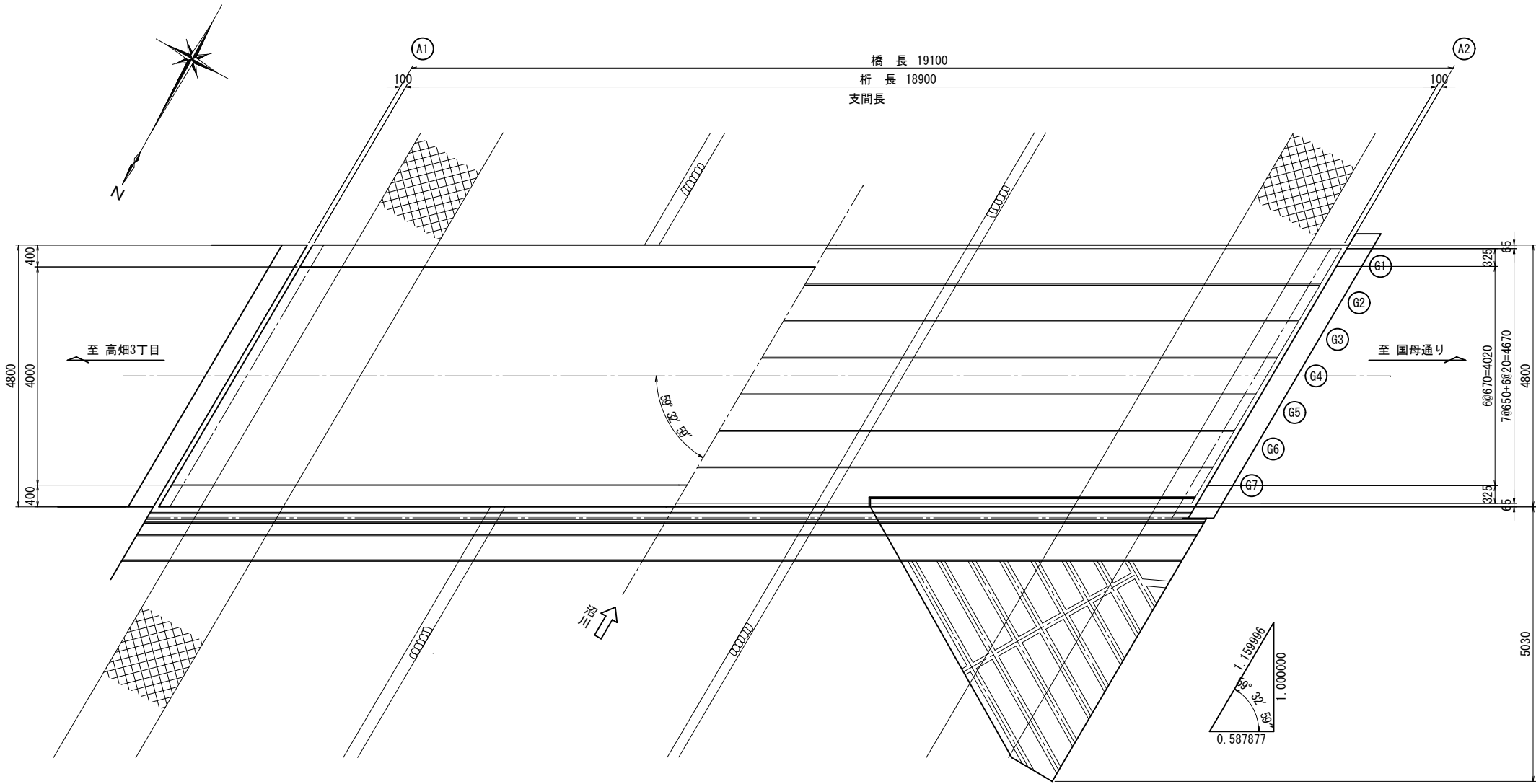
側面図 A1 (A3) ・ S=1:50 (100)



断面図 A1 (A3) ・ S=1:30 (60)



平面図 A1 (A3) ・ S=1:50 (100)

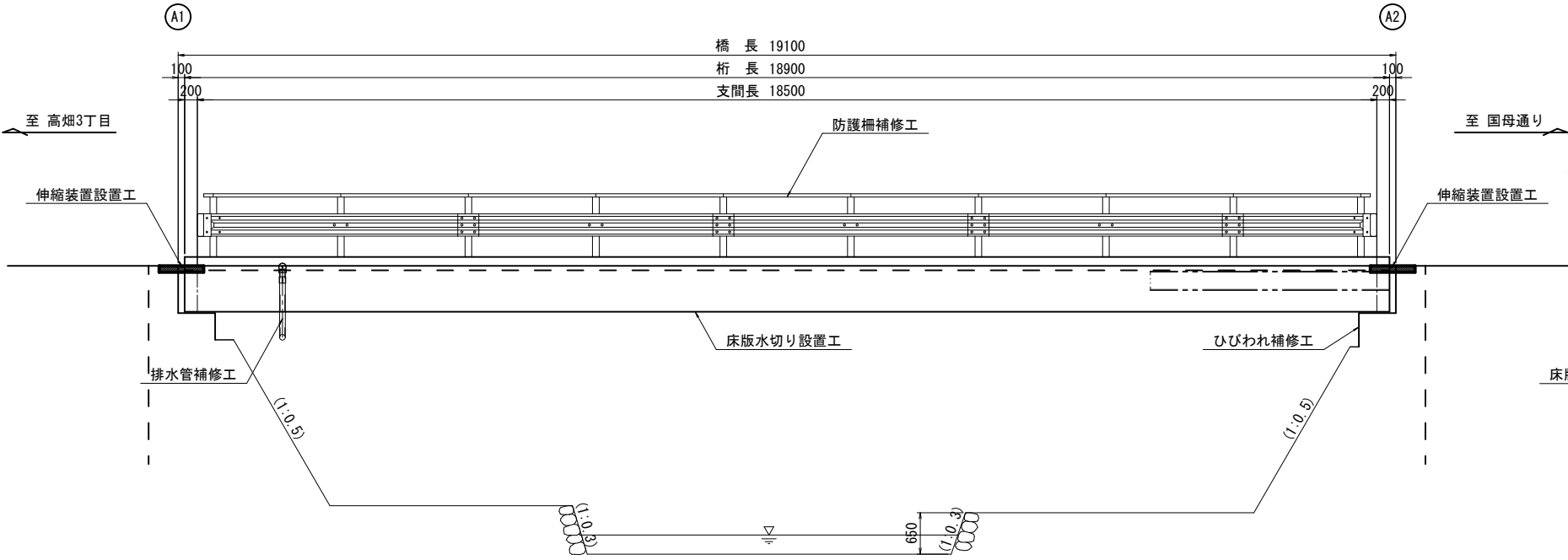


- <注記>
- 本図は実測により作成した一般図である。
 - 支承条件については、現地にて確認のこと。

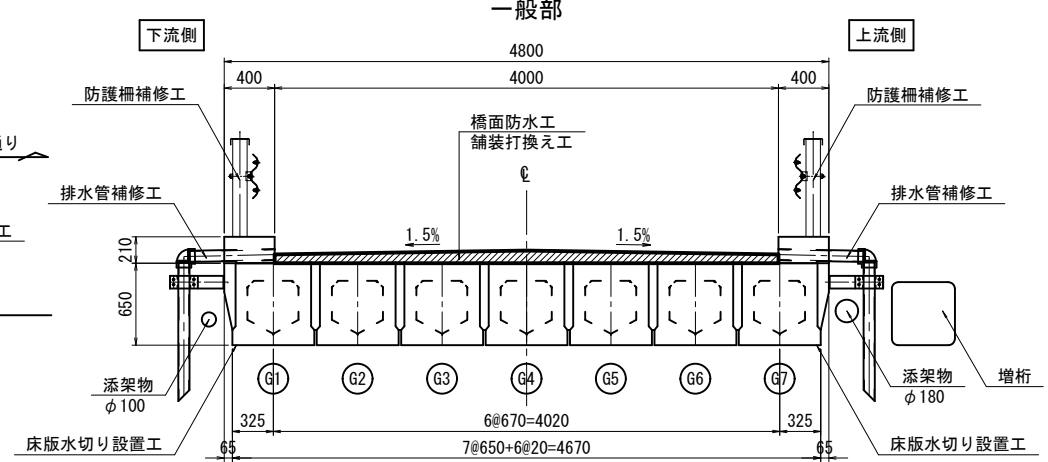
工事名	橋梁補修工事 (R5-2)		
工事場所	甲府市 高畑三丁目 地内 外		
路線名	市道 高畑二日市場線		
図面名	手引橋 橋梁一般図		
縮尺	図示	図面番号	1/12
会社名	大日コンサルタント(株)		
甲	府	市	

手引橋 補修一般図

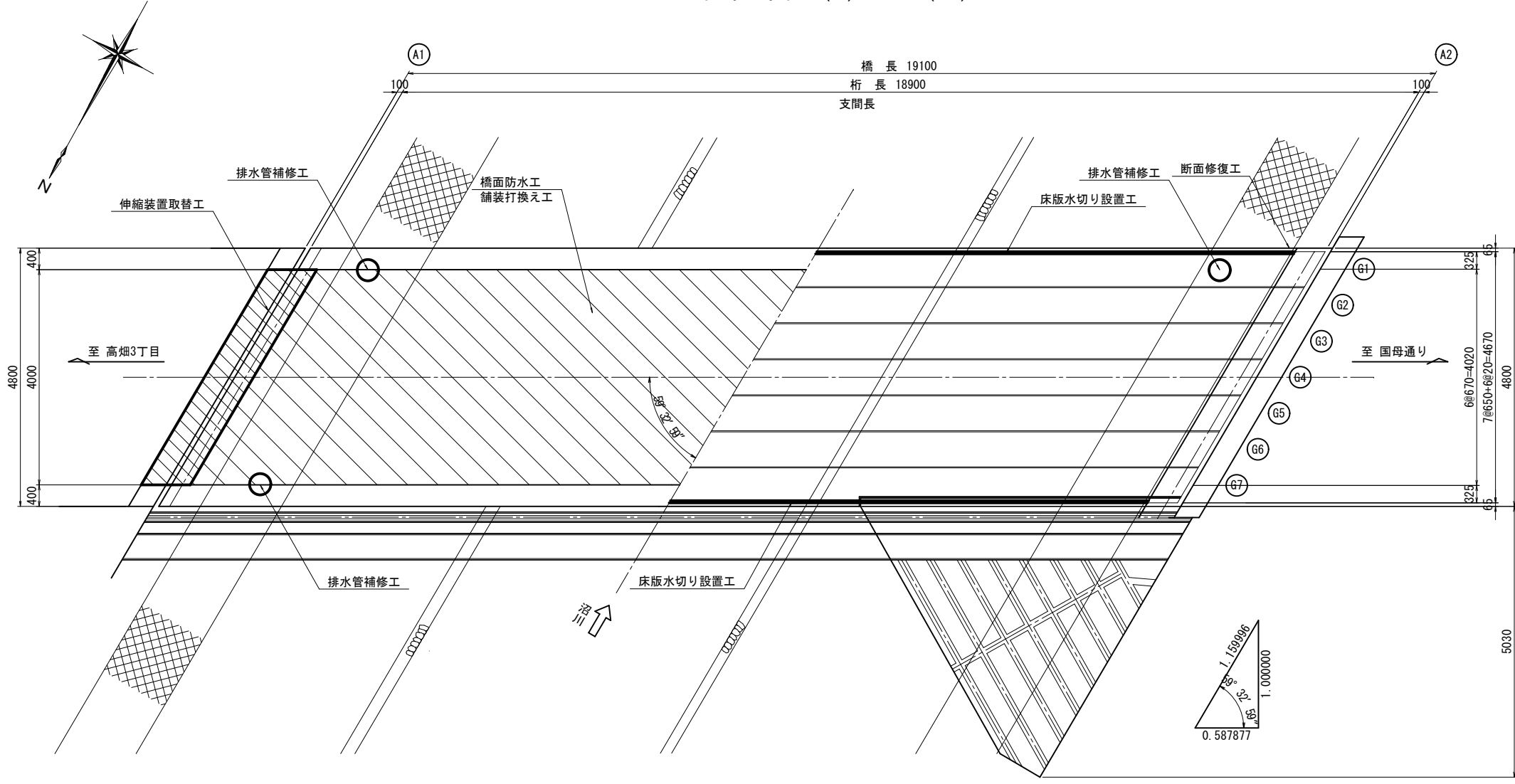
側面図 A1 (A3) ・ S=1:50 (100)



断面図 A1 (A3) ・ S=1:30 (60)



平面図 A1 (A3) ・ S=1:50 (100)



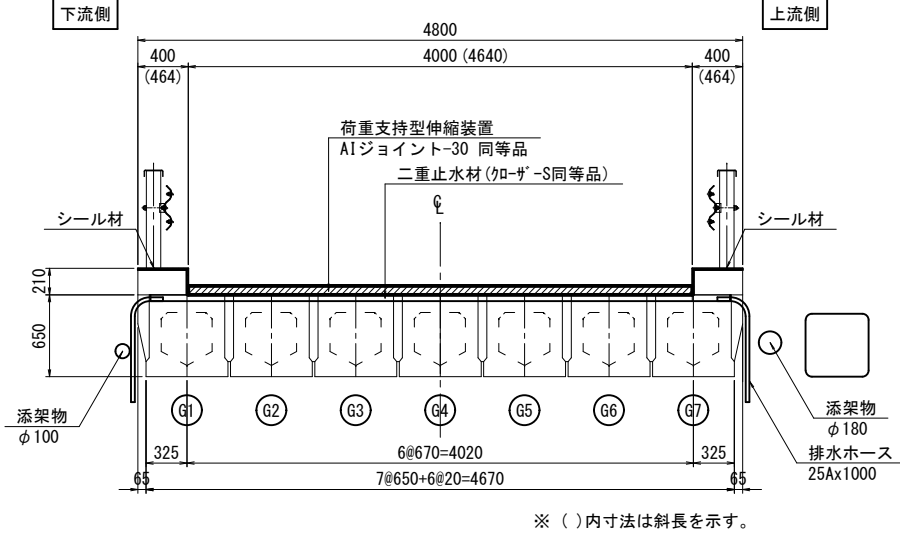
補修項目一覧

	補修内容	施工箇所
補修	伸縮装置取替工	A1橋台, A2橋台
	橋面防水工	橋面全面
	舗装打換え工	橋面全面
	ひびわれ補修工	A2橋台
	断面修復工	地覆
	床版水切り設置工	床版下面
	防護柵補修工	防護柵全長
	排水管補修工	全3箇所

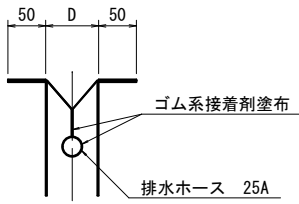
工事名	橋梁補修工事 (R5-2)		
工事場所	甲府市 高畑三丁目 地内 外		
路線名	市道 高畑二日市場線		
図面名	手引橋 補修一般図		
縮尺	図示	図面番号	2/12
会社名	大日コンサルタント(株)		
	甲	府	市

手引橋 伸縮装置設置工詳細図(その1)

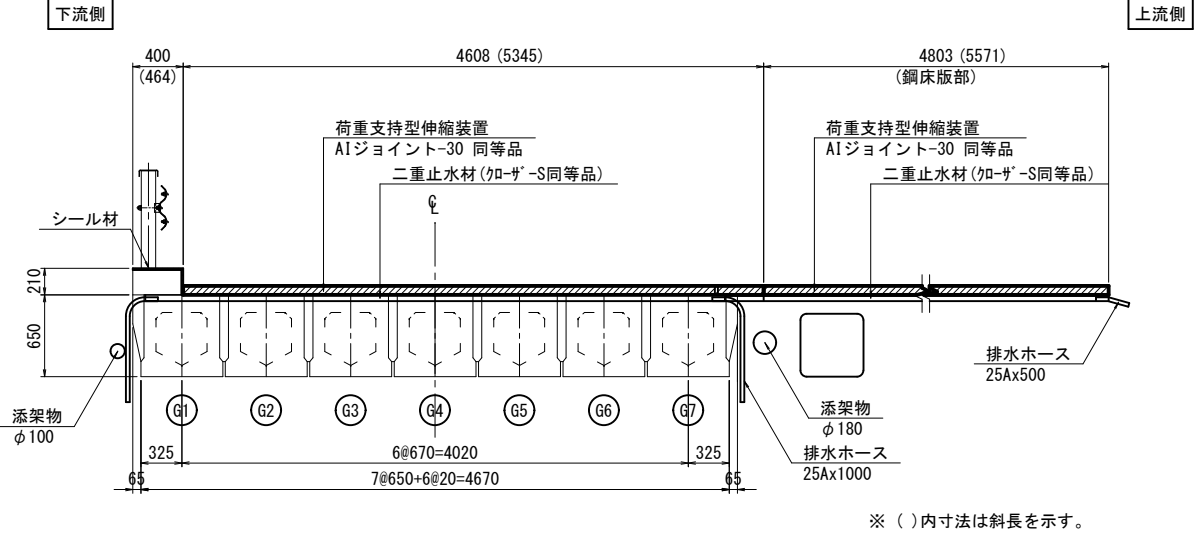
断面図 A1 (A3)・S=1:30 (60)
(A1橋台)



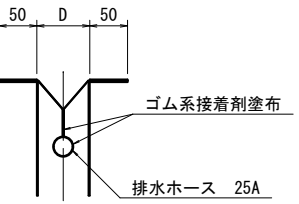
二重止水材端部詳細
A1 (A3)・S=1:5 (10)
(A1橋台)



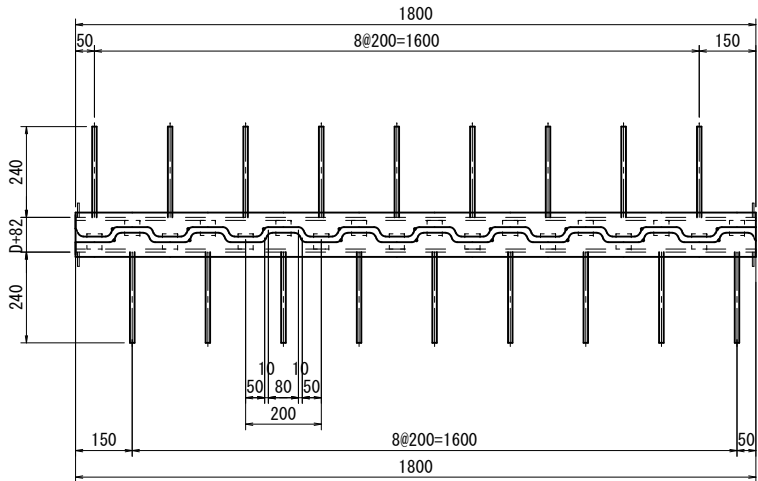
断面図 A1 (A3)・S=1:30 (60)
(A2橋台)



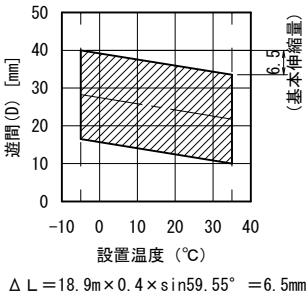
二重止水材端部詳細
A1 (A3)・S=1:5 (10)
(A2橋台)



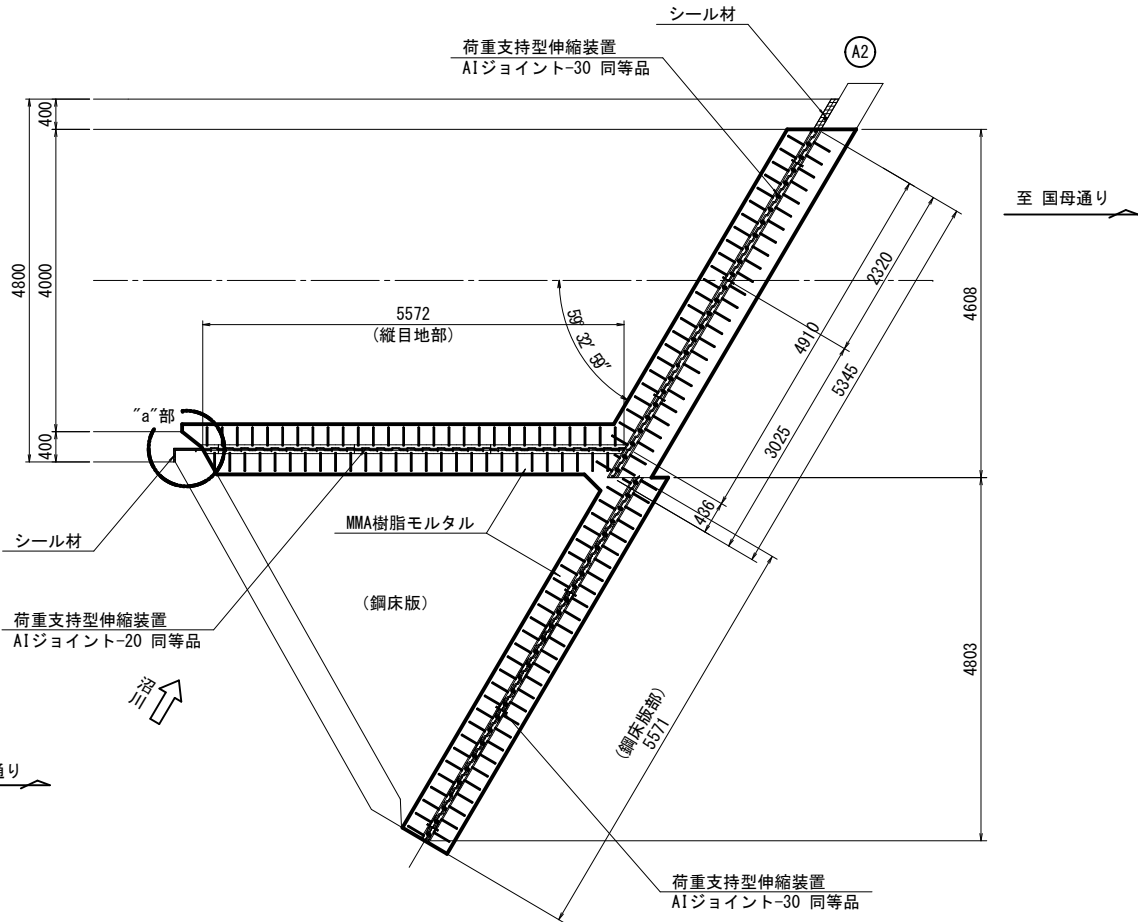
部材平面図 A1 (A3)・S=1:10 (20)



設置表

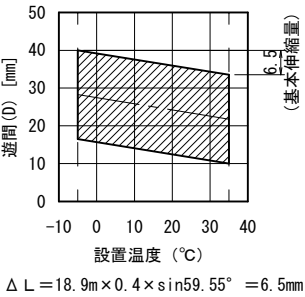


A2橋台伸縮装置設置平面図 A1 (A3)・S=1:50 (100)

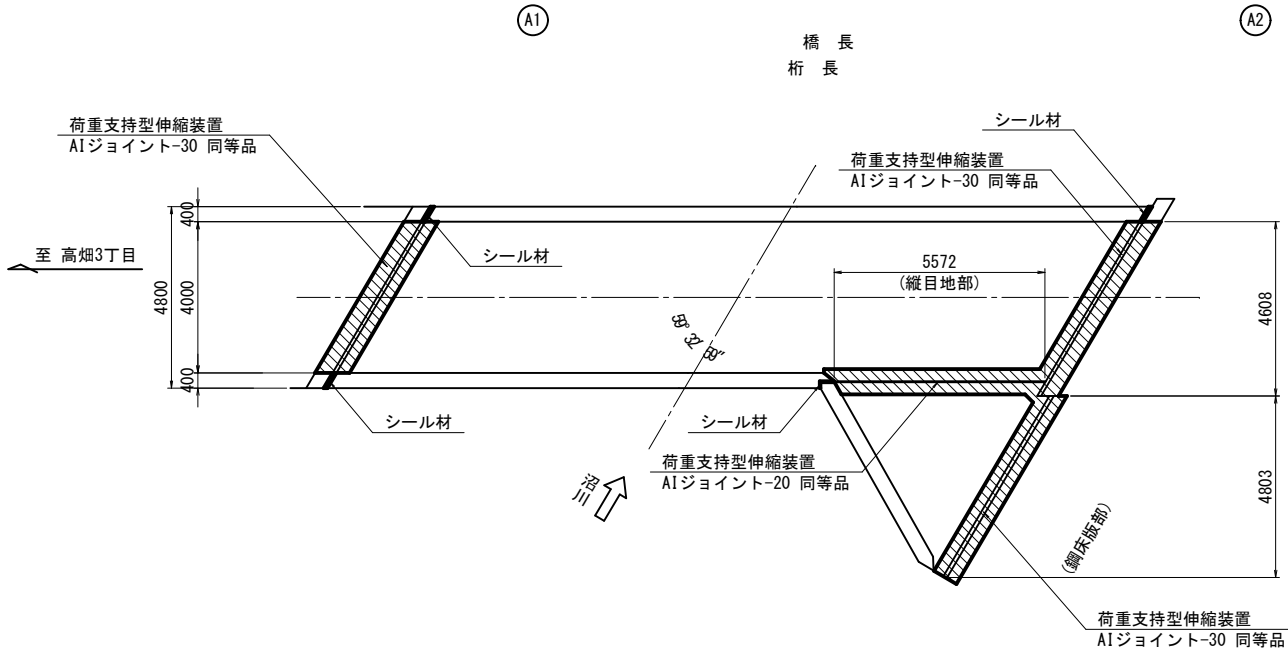


設置表

A2鋼床版部



位置図 A1 (A3)・S=1:100 (200)



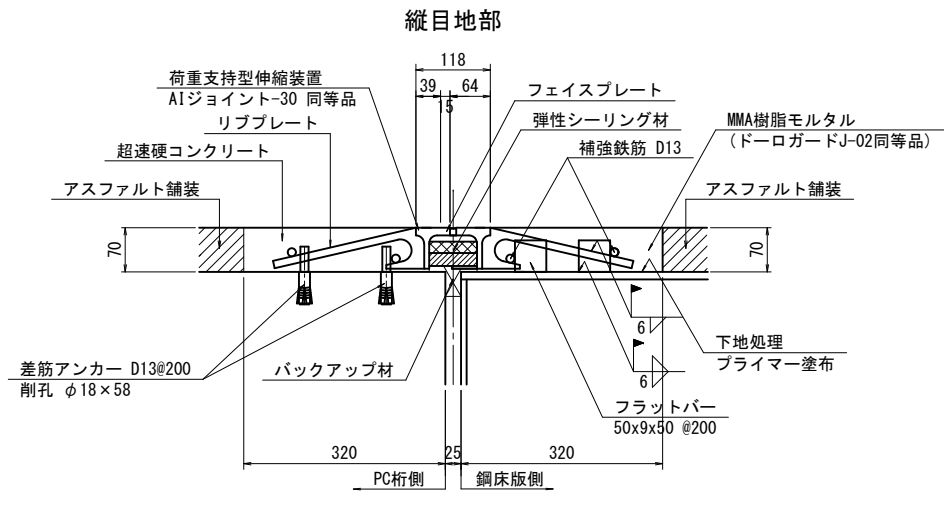
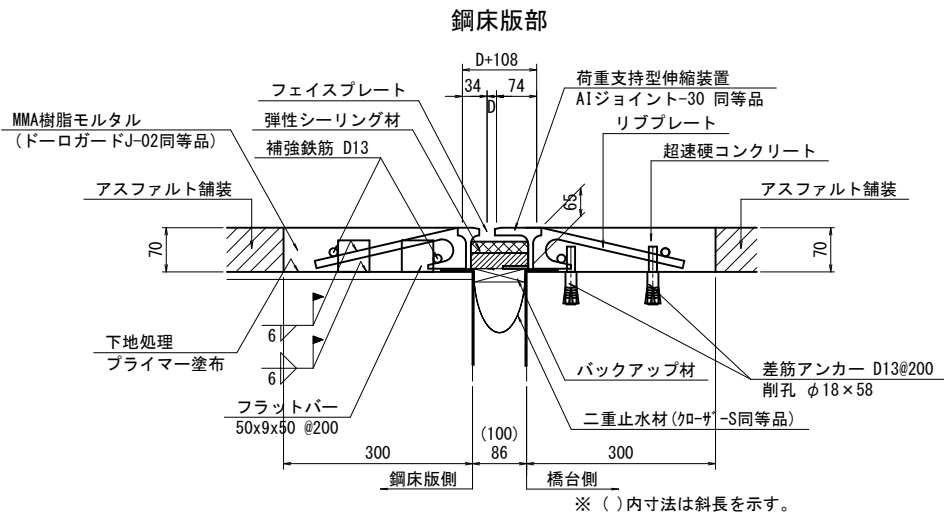
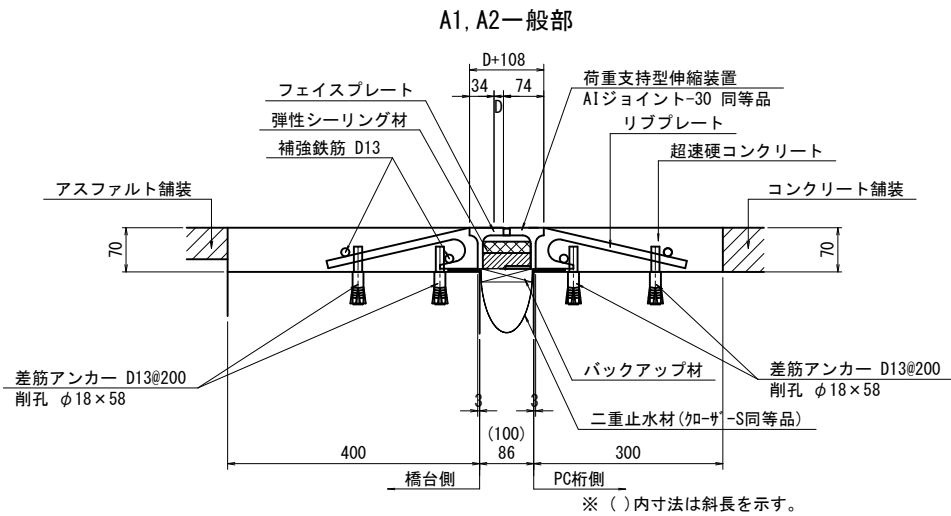
〈注記〉

- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
- 既設はノージョイントを想定している。
- ジョイントセット遊間 Dは施工時の温度及び床版遊間 dにより調整すること。
- パラペット天端撤去の際に、鉄筋等が露出した場合には、必要に応じて防錆処理を行うこと。
- パラペット天端撤去の際に、鉄筋等が露出した場合には、必要に応じて防錆処理を行うこと。
- 鋼床版上面は、既設舗装撤去後、錆等の汚れをディスクサンダー等で除去すること。

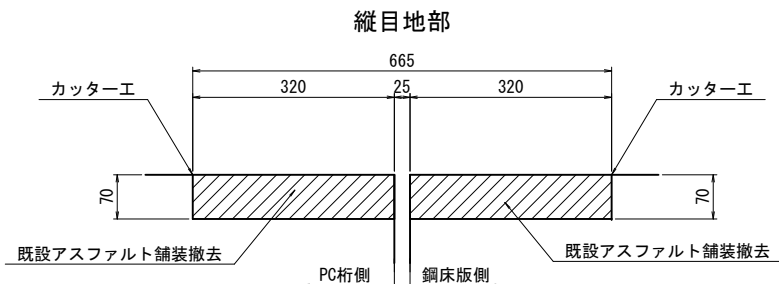
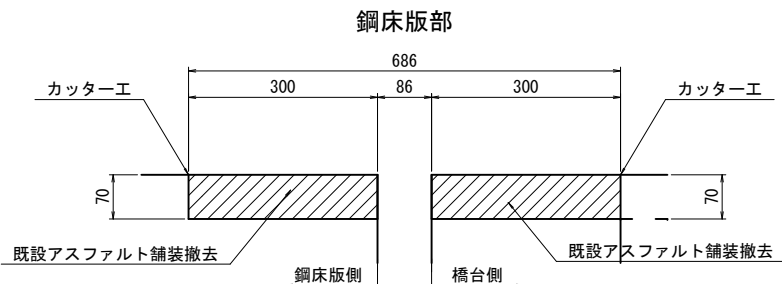
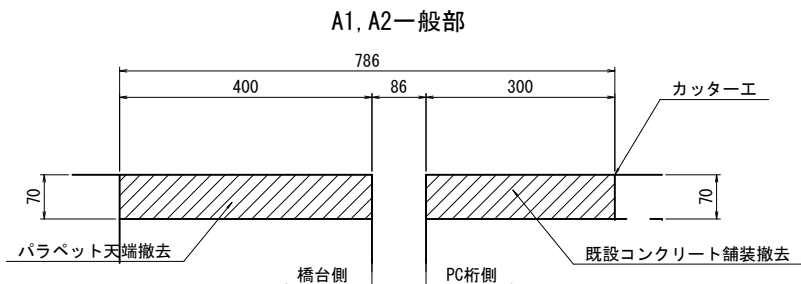
工 事 名	橋梁補修工事 (R5-2)
工事場所	甲府市 高畑三丁目 地内 外
路 線 名	市道 高畑二日市場線
図 面 名	手引橋 伸縮装置設置工詳細図(その1)
縮 尺	図 示
図面番号	3/12
会 社 名	大日コンサルタント(株)
甲 府 市	

手引橋 伸縮装置設置工詳細図(その2)

伸縮装置設置断面図 A1 (A3)・S=1:6(12)

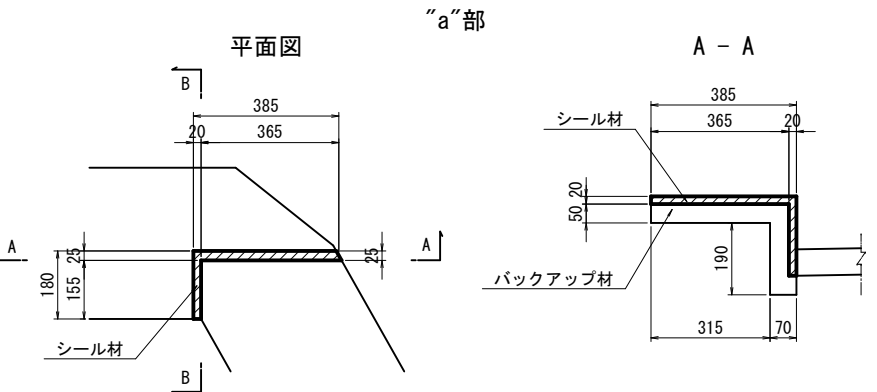
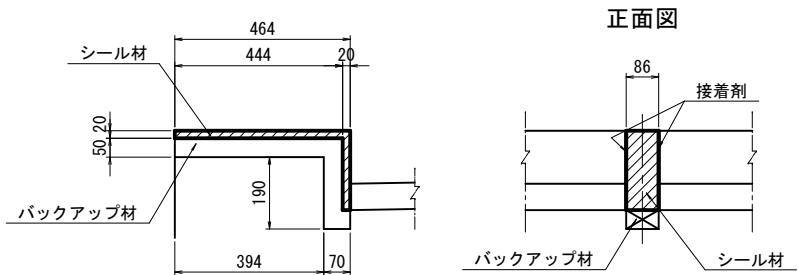


既設撤去図 A1 (A3)・S=1:6(12)

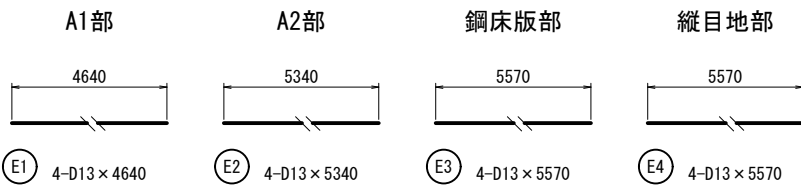


シール材充填図 A1 (A3)・S=1:10(20)

A1上下流, A2下流側



補強鉄筋加工図



伸縮装置設置 材料表

名 称	品名又は仕様	単位	A1	A2	鋼床版部	縦目地部	合 計	備 考
伸縮金物	荷重支持型 A1J-20 同等品	m	-	-	-	5.6	5.6	
	荷重支持型 A1J-30 同等品	m	4.6	5.3	5.6	-	15.5	
超速硬コンクリート	σ 3h=24N/mm ²	m ³	0.2	0.3	0.1	0.1	0.7	
MMA樹脂モルタル	ドーログードJ-02同等品	m ³	-	-	0.1	0.1	0.2	
プライマー	パーミタイト#115同等品	kg	-	-	0.4	0.4	0.8	
補強鉄筋	SD345 D13	kg	18	21	22	22	83	
差筋アンカー	SD345 D13	本	96	108	56	56	316	
コンクリート削孔工	φ18×58	孔	96	108	56	56	316	
フラットバー	SS400 50×9×50	枚	-	-	58	54	112	参考重量 20kg
現場溶接	すみ肉 6mm	m	-	-	8.7	8.1	16.8	
二重止水材	クローザーS 同等品	m	4.6	5.3	5.6	-	15.5	
排水ホース	25A	m	2.0	2.0	0.5	-	4.5	
シール材	シリコン系	kg	2.4	1.2	-	0.4	4.0	
バックアップ材		m	1.3	0.6	-	0.7	2.6	
接着剤	ウレタン樹脂系	g	24.7	12.4	-	7.0	44.1	

撤去及び他 数量表

名 称	仕 様	単位	A1	A2	鋼床版部	縦目地部	合 計	備 考
既設撤去	コンクリート(無筋)	m ³	0.23	0.26	-	-	0.5	参考重量 1.2t
	アスファルト	m ³	-	-	0.23	0.25	0.5	参考重量 1.1t
カッター工	コンクリート	m	4.6	5.3			9.9	
	アスファルト	m			11.1	11.1	22.2	

鉄筋質量表

記 号	径	長 さ	本 数	単位質量	1本当り質量	質 量	摘 要
		(mm)		(kg/m)	(kg/本)	(kg)	
E ₁	D13	4640	4	0.995	4.62	18	—
E ₂	D13	5340	4	0.995	5.31	21	—
E ₃	D13	5570	4	0.995	5.54	22	—
E ₄	D13	5570	4	0.995	5.54	22	—
						83	
合 計 D13				83 kg			
総質量				83 kg			

<注記>

- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
- 既設はノージョイントを想定している。
- ジョイントセット遊間 Dは施工時の温度及び床版遊間 dにより調整すること。
- パラペット天端撤去の際に、鉄筋等が露出した場合には、必要に応じて防錆処理を行うこと。
- パラペット天端撤去の際に、鉄筋等が露出した場合には、必要に応じて防錆処理を行うこと。
- 鋼床版上面は、既設舗装撤去後、錆等の汚れをディスクサンダー等で除去すること。

工 事 名 橋梁補修工事 (R5-2)

工事場所 甲府市 高畑三丁目 地内 外

路 線 名 市道 高畑二日市場線

図 面 名 手引橋 伸縮装置設置工詳細図(その2)

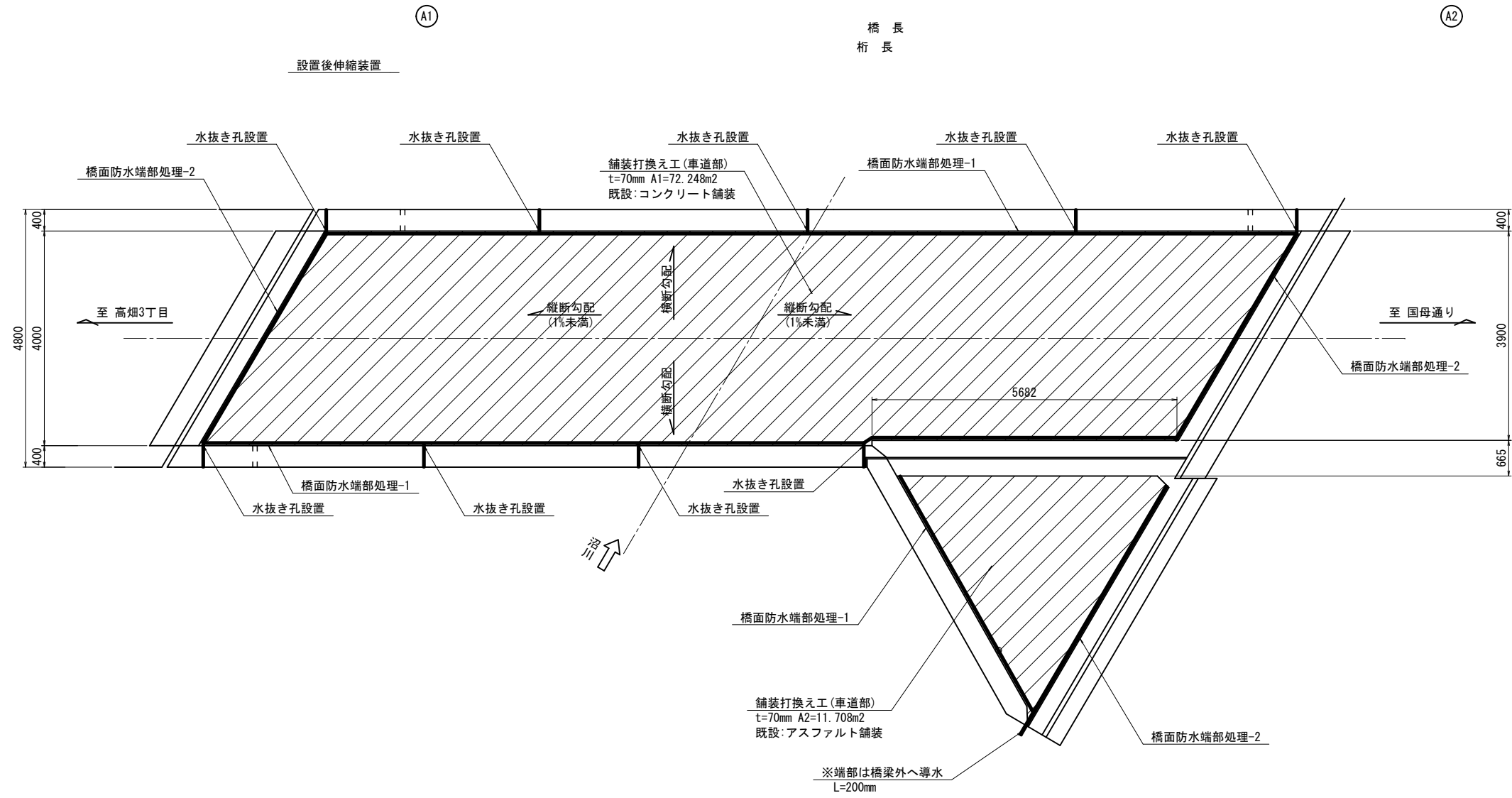
縮 尺 図 示 図面番号 4/12

会 社 名 大日コンサルタント(株)

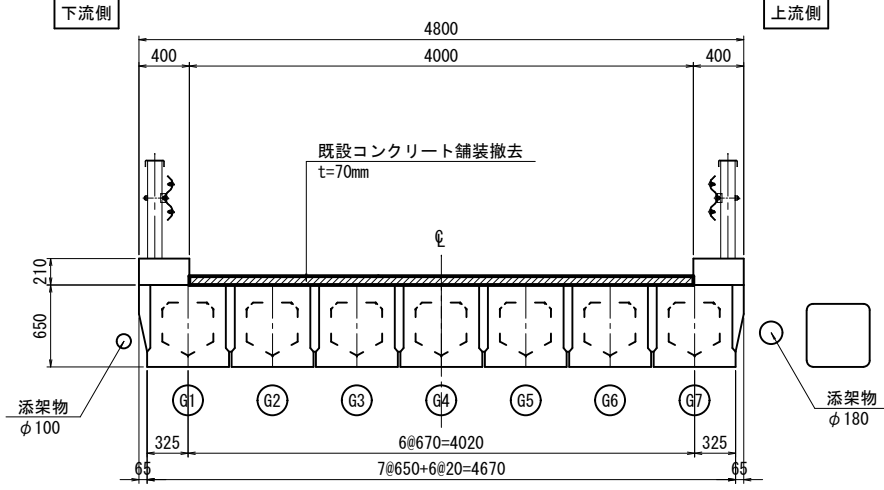
甲 府 市

手引橋 橋面工詳細図(その1)

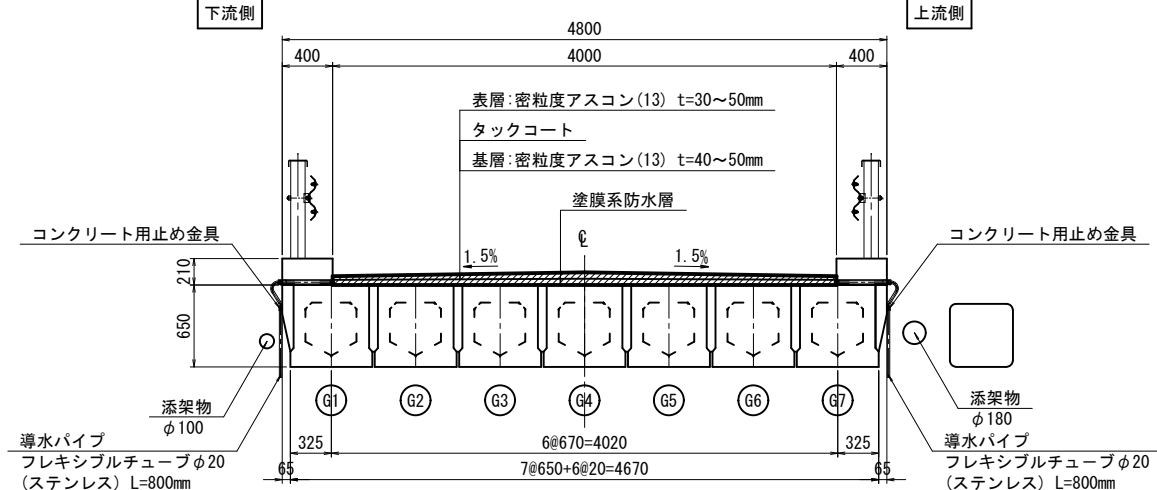
平面図 A1 (A3) ・ S=1:50 (100)



既設撤去図 A1 (A3) ・ S=1:30 (60)
一般部



補修断面図 A1 (A3) ・ S=1:30 (60)
一般部



- 〈注記〉
- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
 - コンクリート舗装を切削する際は、床版を削らないように注意して施工すること。
 - 舗装切削前に既設舗装厚を確認し、設計舗装厚と現地が異なる場合は、舗装構成について監督員と協議すること。
 - 既設舗装撤去後の床版上面に脆弱な箇所がある場合は、監督員と協議の上、超速硬モルタル等で復旧すること。
 - 水抜き孔は、鉄筋探索により既設鉄筋を避け、切断しないよう配置すること。
 - フレキシブルチューブの取付は、排水性を考慮し極端に曲げないように配置すること。

工 事 名	橋梁補修工事 (R5-2)
工事場所	甲府市 高畑三丁目 地内 外
路 線 名	市道 高畑二日市場線
図 面 名	手引橋 橋面工詳細図(その1)
縮 尺	図 示
図面番号	5/12
会 社 名	大日コンサルタント(株)
甲 府 市	

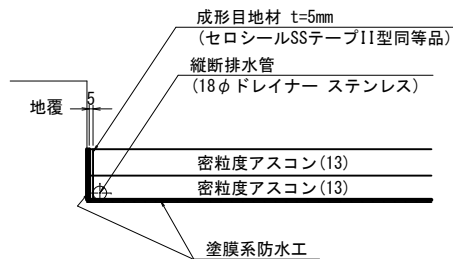
手引橋 橋面工詳細図(その2)

(橋面防水工・舗装打換え工)

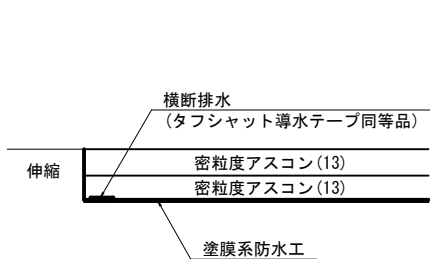
橋面防水端部処理詳細図

A1 (A3) ・ S=1:5 (10)

橋面防水端部処理-1



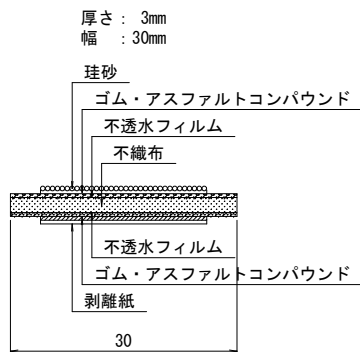
橋面防水端部処理-2



導水テープ構成図

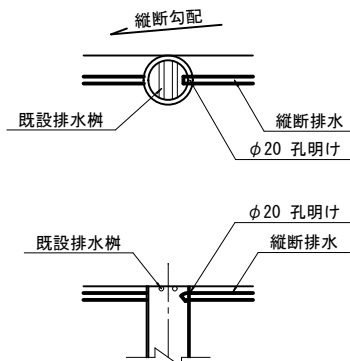
A1 (A3) ・ S=1:5 (10)

<参考図>



排水柵部取付詳細

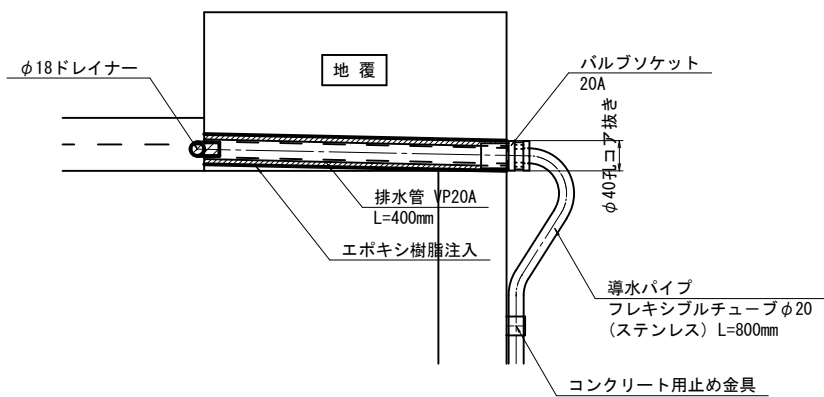
A1 (A3) ・ S=1:10 (20)



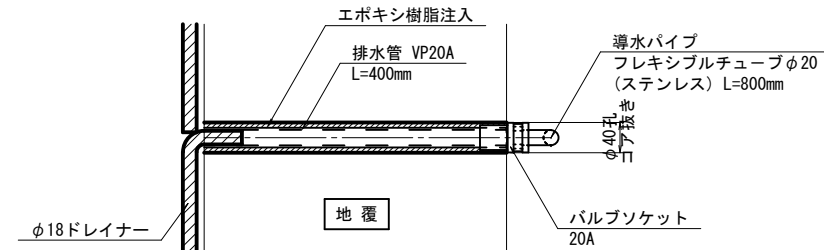
水抜き孔設置詳細

A1 (A3) ・ S=1:5 (10)

断面図



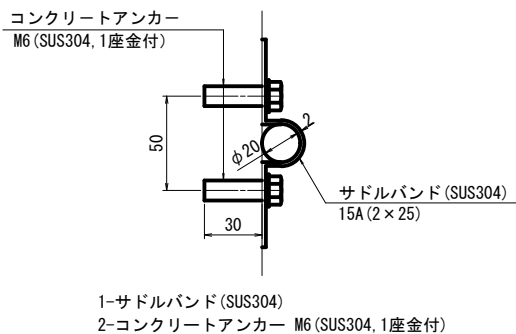
平面図



コンクリート用止め金具詳細

A1 (A3) ・ S=1:2 (4)

製作数9個



橋面防水工 数量表

1橋当り

細 別	規 格	単位	数 量	備 考
防水層面積	塗膜系防水層	m ²	84	
成形目地材	セロシールSSテープII型同等品	m	36	
縦断排水	φ18ドレイナー同等品	m	42	100m ² 当り
横断排水	タフシャット導水テープ同等品	m	15	
排水管	VP20	m	3.6	
バルブソケット	20A	個	9	
エポキシ樹脂	比重1.20	kg	3.7	
導水パイプ	フレキシブルチューブ φ20ステンレス (ナット)	m	7.2	
止め金具	コンクリート用	箇所	9	
削孔工	φ40×400	m	3.6	
コンクリート殻	無筋	m ³	0.005	参考重量0.01t
排水柵削孔工	φ20	箇所	1	
鉄筋探査	下向き	m ²	1.4	

舗装打換え工 数量表

1橋当り

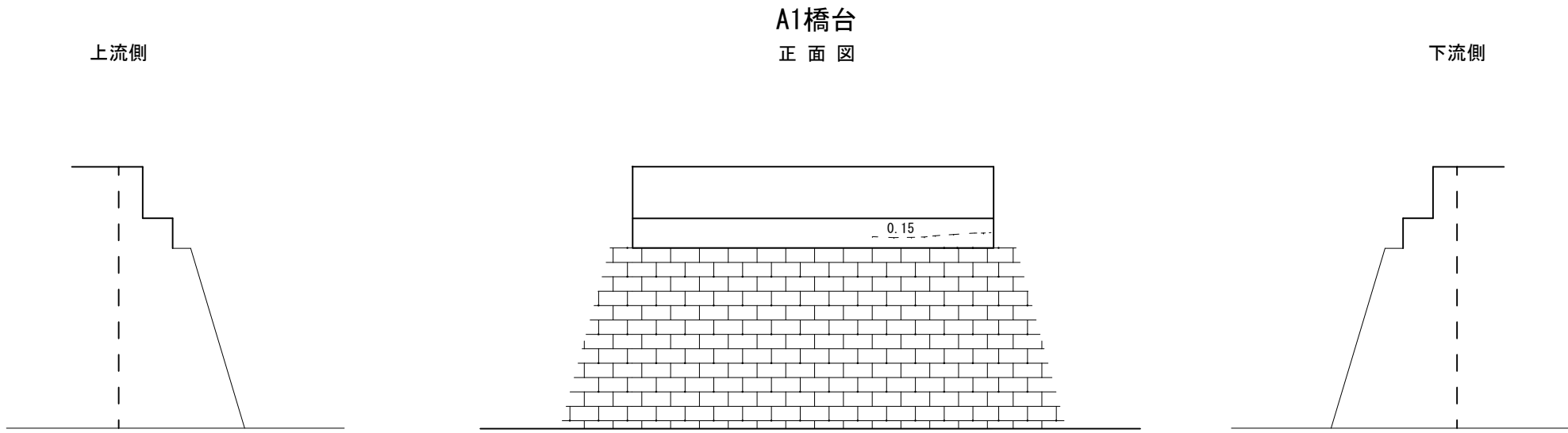
細 別	規 格	単位	数 量	備 考
車道舗装	t=35~50mm 表層 (アスファルト舗装) 密粒度アスコン(13)	m ²	84	
	t=35~50mm 基層 (アスファルト舗装) 密粒度アスコン(13)	m ²	84	
タックコート		m ²	84	
舗装版とりこわし撤去	t=70mm コンクリート舗装	m ²	72	
殻運搬処理	無筋コンクリート	m ³	5.1	参考重量 11.9t
舗装版とりこわし撤去	t=70mm アスファルト舗装	m ²	12	
殻運搬処理	アスファルト	m ³	0.8	参考重量 1.9t

<注記>

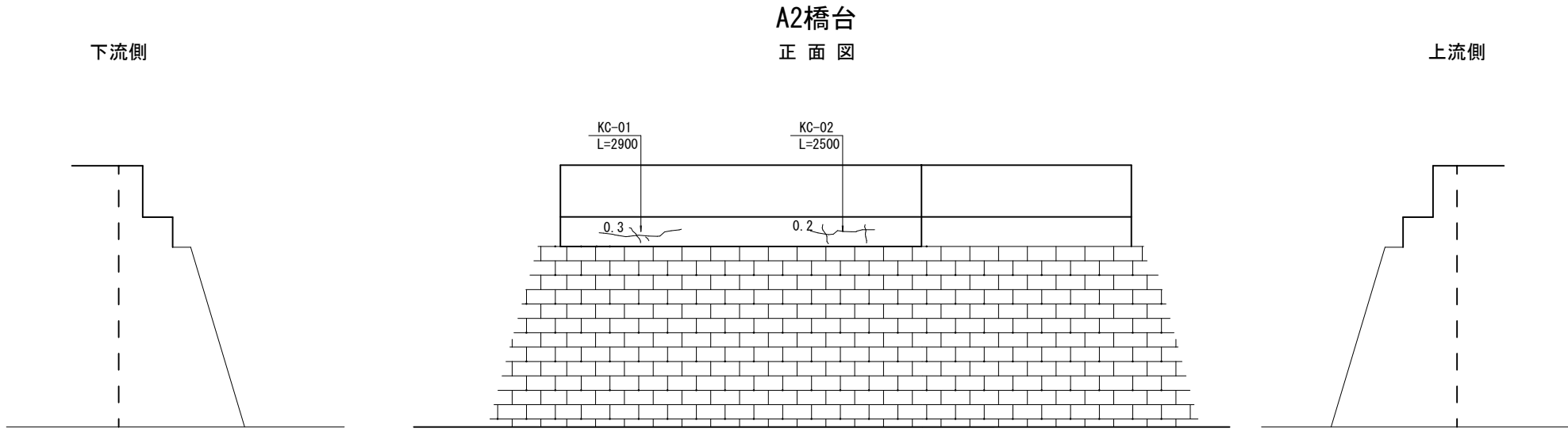
- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
- コンクリート舗装を切削する際は、床版を削らないように注意して施工すること。
- 舗装切削前に既設舗装厚を確認し、設計舗装厚と現地が異なる場合は、舗装構成について監督員と協議すること。
- 既設舗装撤去後の床版上面に脆弱な箇所がある場合は、監督員と協議の上、超速硬モルタル等で復旧すること。
- 水抜き孔は、鉄筋探査により既設鉄筋を避け、切断しないよう配置すること。
- フレキシブルチューブの取付は、排水性を考慮し極端に曲げないように配置すること。

工 事 名	橋梁補修工事 (R5-2)
工事場所	甲府市 高畑三丁目 地内 外
路 線 名	市道 高畑二日市場線
図 面 名	手引橋 橋面工詳細図(その2)
縮 尺	図 示
図面番号	6/12
会 社 名	大日コンサルタント(株)
甲 府 市	

手引橋 ひびわれ補修工詳細図 A1 (A3) ・ S=1:50 (100)



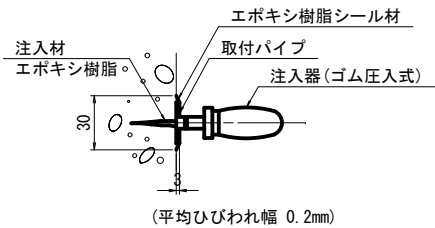
※ー ー部は、0.2mm未満のひびわれ、または遊離石灰を伴うひびわれを示す。



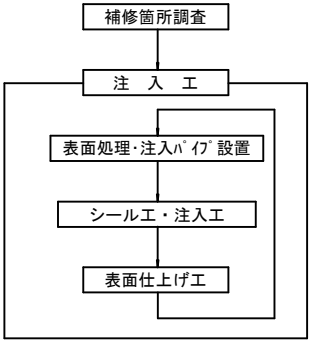
ひびわれ注入数量表

部材	No.	延長 (m)	摘 要
A2橋台	KC-01	2.9	ひびわれ幅=0.3mm
A2橋台	KC-02	2.5	ひびわれ幅=0.2mm
小 計		5.4	

ひびわれ注入 詳細図
(自動式低圧注入工法)



施工手順



ひびわれ注入 単位数量表

名 称	規 格	単位	数 量	摘 要
注入材	エポキシ樹脂	kg	0.04	ひびわれ幅 平均 W=0.25mm ひびわれ深さ 平均 D=50mm 1200kg/m3
シーリング材	エポキシ樹脂	kg	1.38	1700kg/m3
低圧注入器具		個	18	設置ピッチ 300mm

＜注記＞

- ひびわれ補修の範囲は、現地調査に基づき決めているが、工事に際しては、劣化範囲の進展の可能性があるため劣化状況を確認すること。
- 劣化範囲の拡大や新たな劣化部がみられた場合には、施工範囲について監督職員と協議すること。

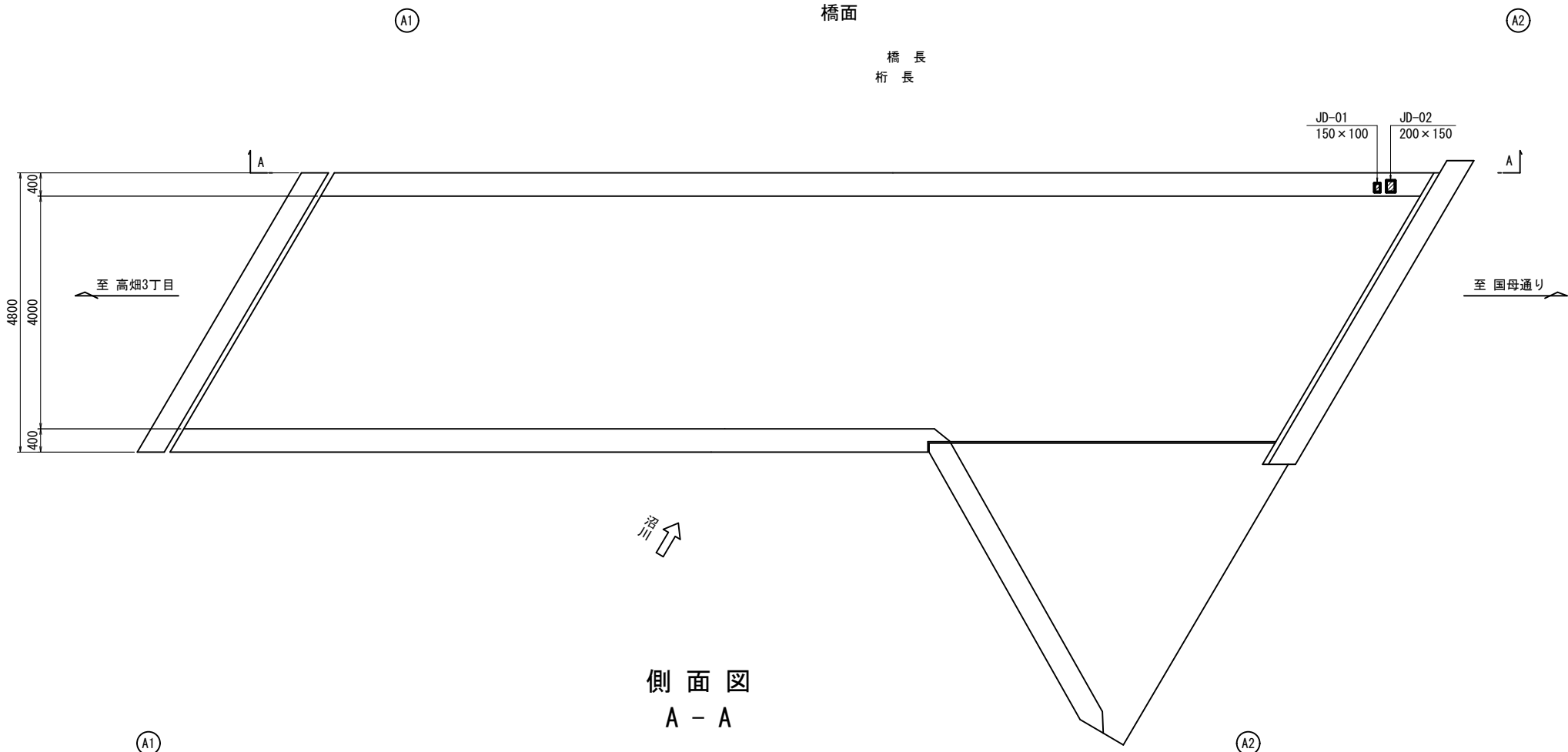
工 事 名	橋梁補修工事 (R5-2)		
工事場所	甲府市 高畑三丁目 地内 外		
路 線 名	市道 高畑二日市場線		
図 面 名	手引橋 ひびわれ補修工詳細図		
縮 尺	図示	図面番号	7/12
会 社 名	大日コンサルタント(株)		
	甲	府	市

手引橋 断面修復工詳細図

平面図 A1 (A3) ・ S=1:50 (100)

橋面

橋 長
桁 長



断面修復工 上部工数量表 [平均深さ70mm]

部材	No.	W × L (mm)	A (m ²)
地覆	JD-01	150 × 100	0.015
	JD-02	200 × 150	0.030
	JD-03	200 × 100	0.020
	JD-04	350 × 100	0.035
	JD-05	200 × 100	0.020
	JD-06	250 × 100	0.025
	JD-07	300 × 100	0.030
合 計			0.175
体 積 (m ³)			0.012

カッター工 上部工数量表

部材	No.	延 長 (m)
地覆	JD-01	0.500
	JD-02	0.700
	JD-03	0.600
	JD-04	0.900
	JD-05	0.600
	JD-06	0.700
	JD-07	0.800
合 計		4.800

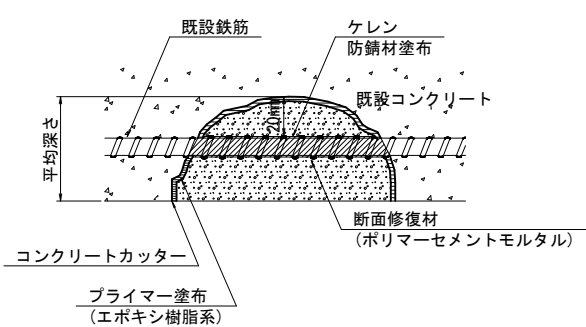
断面修復工 上部工数量表

1橋当り

名 称	規 格	単 位	数 量	摘 要
断面修復工	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.012	平均深さ70mm 防錆剤塗布含む
はつり工	有筋	m ³	0.012	平均深さ70mm
コンクリート殻	無筋	m ³	0.009	殻運搬含む 参考重量 0.02t
プライマー工		m ²	0.2	
プライマー使用量	エポキシ樹脂	kg	0.02	0.10kg/m ²

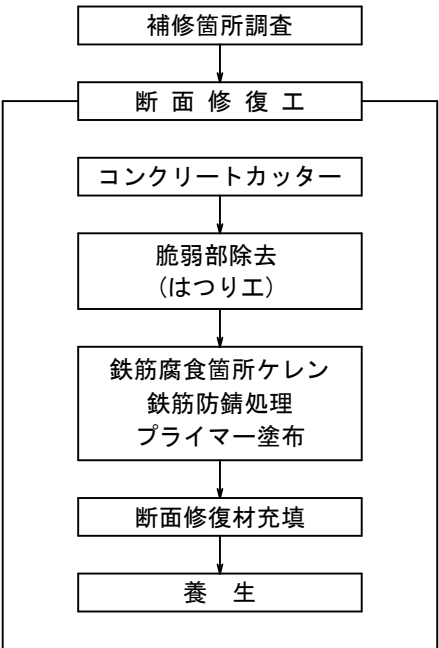
断面修復工詳細図 (参考)

(左官工法)

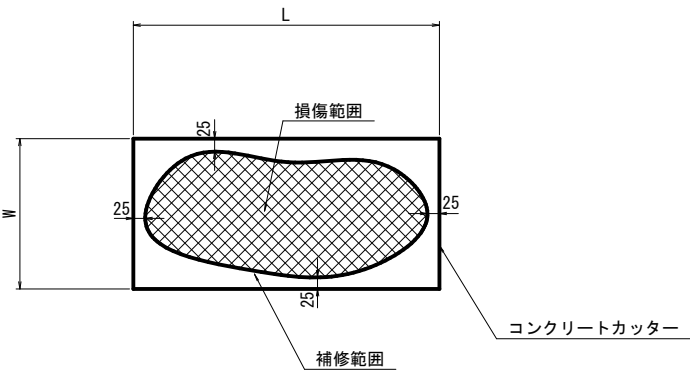


- ※ コンクリートのはつりは、損傷部を囲む長方形の範囲に対して深さ10mm程度コンクリートカッターにより切込みを入れる。
- ※ 脆弱部および鋼材の裏側までコンクリートをはつり取る。
- ※ 腐食した鋼材の錆を完全に除去する。

断面修復施工手順 (参考)



断面修復範囲図



※ 損傷部より25mm程度の余裕を確保し、5cmラウンドの長方形の範囲に対して断面修復を行う。

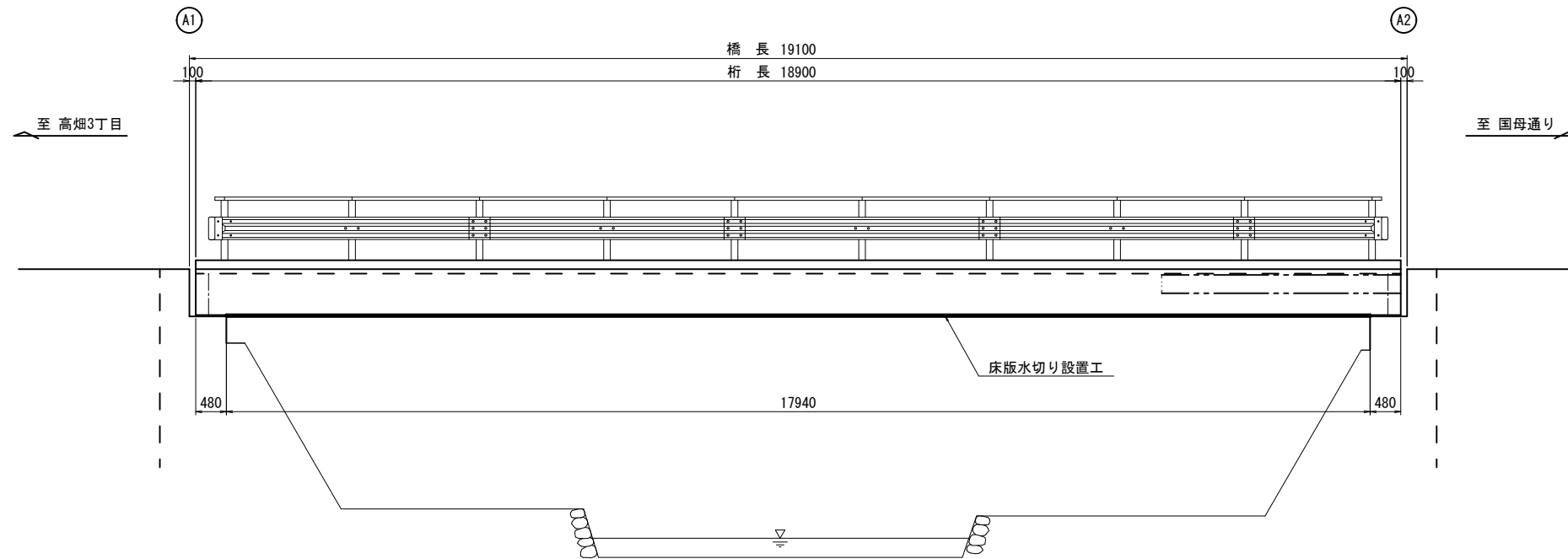
<注記>

1. 施工時は、現地寸法を確認のこと。
2. 本図以外の箇所と同様の損傷を確認した場合、監督員と協議の上、対策を実施すること。
3. 脆弱部は、はつり落とすこと。
4. カッター及びはつり作業時は、既設鉄筋等を傷つけないよう注意すること。
5. 断面修復の範囲は、「現地調査」に基づき決定している。施工時は、劣化範囲の進展の可能性があるため、劣化状況を確認すること。
6. 断面修復の際に、かぶりを確保して補修が出来ない場合は、監督員と協議の上、鉄筋に防錆処理を施すこと。

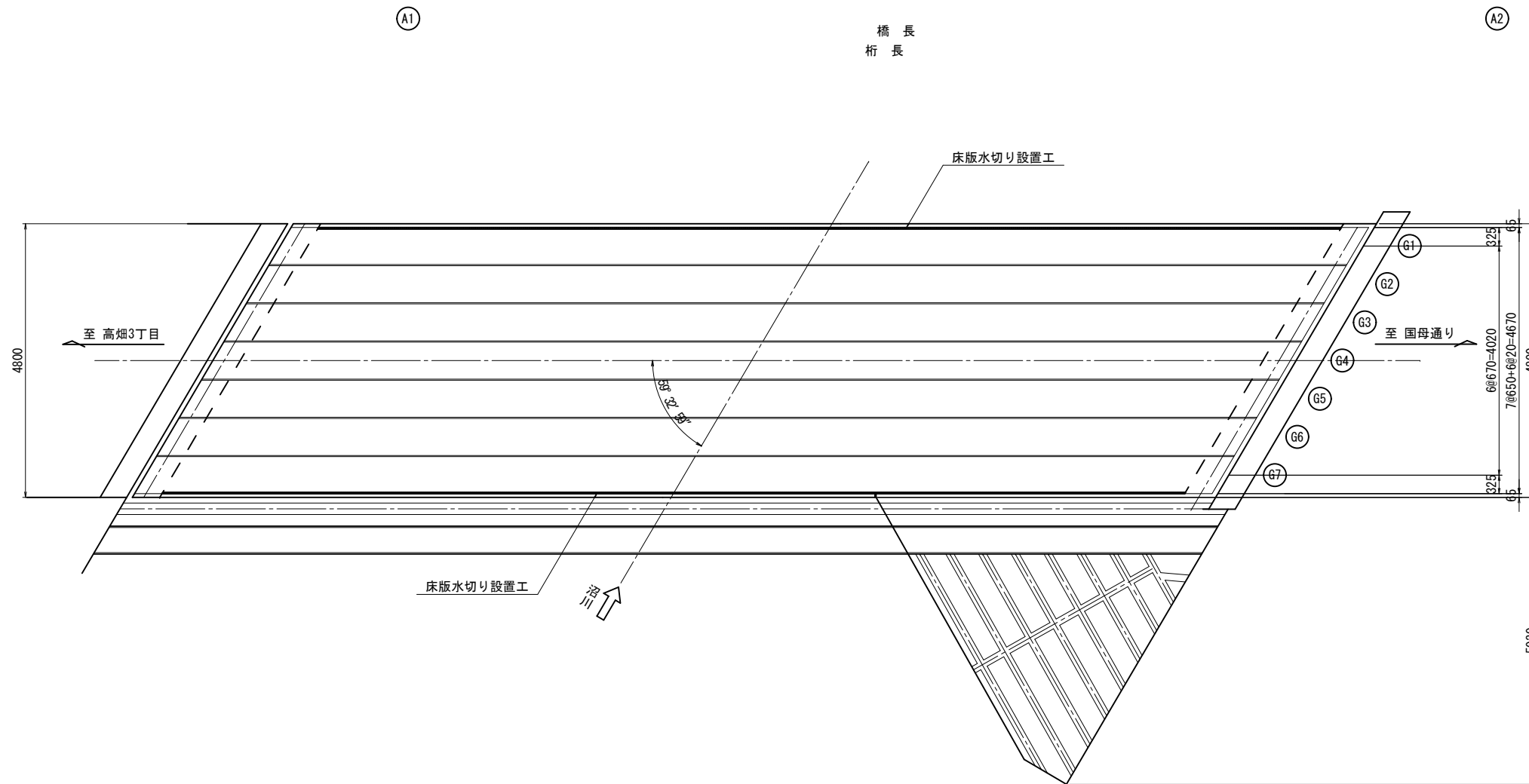
工 事 名	橋梁補修工事（Ｒ５－２）		
工事場所	甲府市 高畑三丁目 地内 外		
路 線 名	市道 高畑二日市場線		
図 面 名	手引橋 断面修復工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	8/12
会 社 名	大日コンサルタント(株)		
	甲	府	市

手引橋 床版水切り設置工詳細図

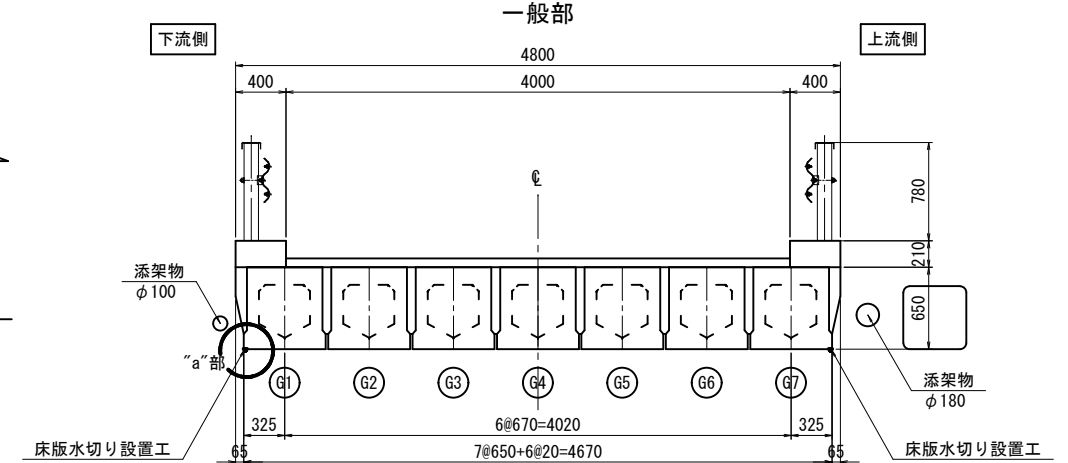
側面図 A1 (A3) ・ S=1:50 (100)



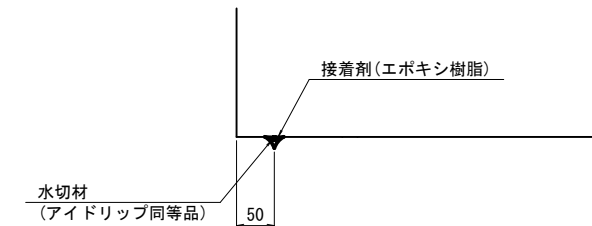
平面図 A1 (A3) ・ S=1:50 (100)



断面図 A1 (A3) ・ S=1:30 (60)

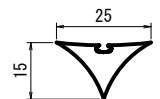


“a”部詳細図
A1 (A3) ・ S=1:5 (10)



水切材形状図

A1 (A3) ・ S=1:1 (2)
(アイドリッップ同等品)



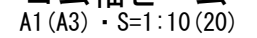
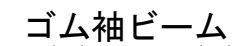
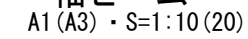
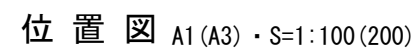
床版水切り設置工 数量表

項目	規格	単位	数量	摘要
水切材	アイドリッップ同等品	m	35.9	

- 〈注記〉
- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
 - 水切り設置面は十分に埃等の除去、清掃を行うこと。

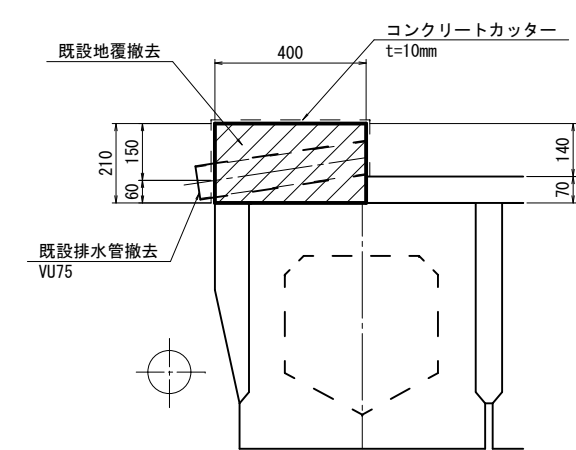
工事名	橋梁補修工事 (R5-2)		
工事場所	甲府市 高畑三丁目 地内 外		
路線名	市道 高畑二日市場線		
図面名	手引橋 床版水切り設置工詳細図		
縮尺	図示	図面番号	9/12
会社名	大日コンサルタント(株)		
甲	府	市	

下流側

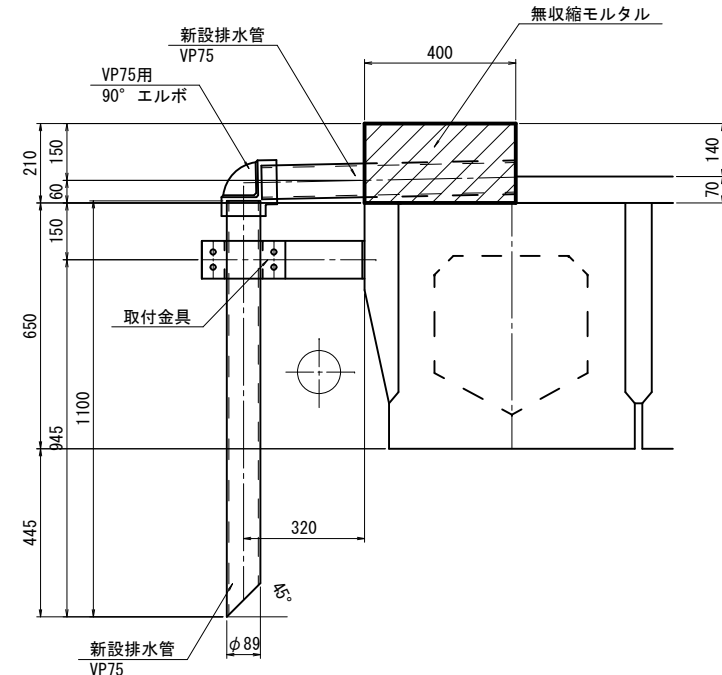


手引橋 排水管補修工詳細図

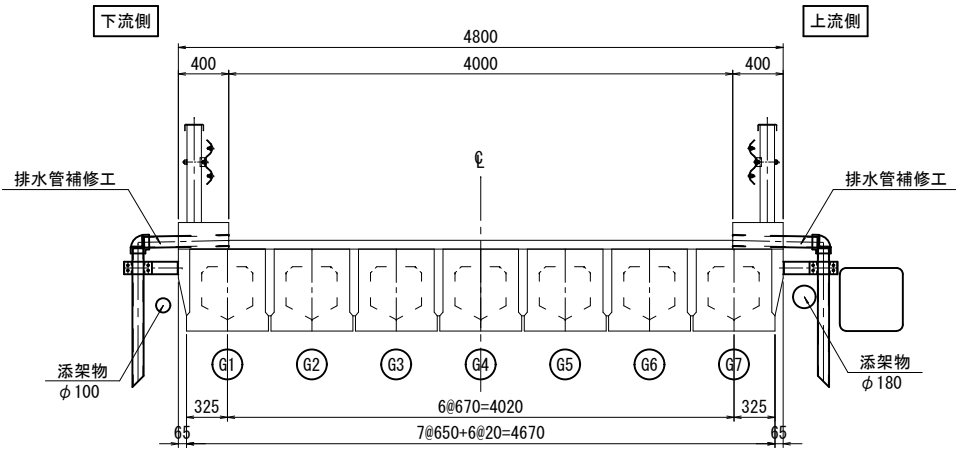
撤去断面図 A1 (A3) ・ S=1:10 (20)



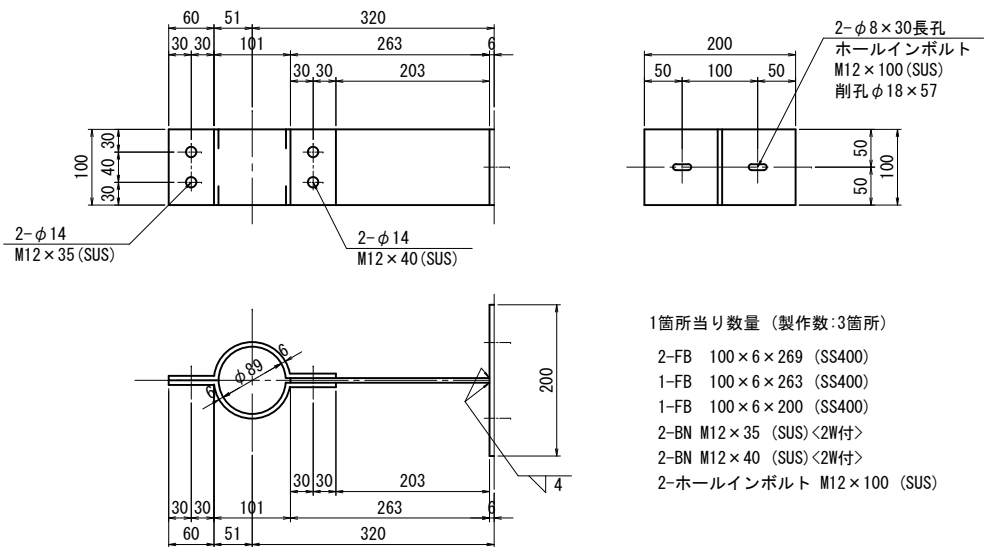
排水管設置断面図 A1 (A3) ・ S=1:10 (20)



断面図 A1 (A3) ・ S=1:30 (60)

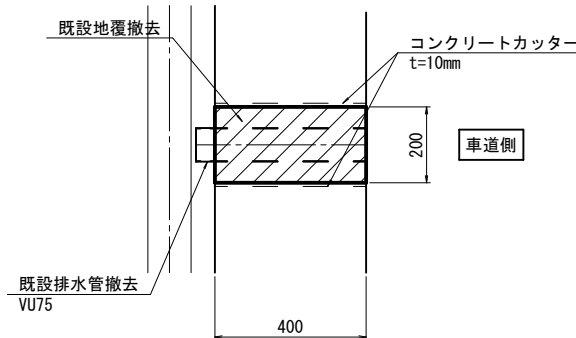


取付金具詳細図
A1 (A3) ・ S=1:5 (10)

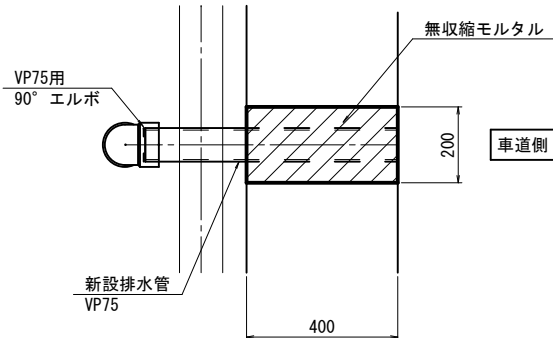


- 1箇所当り数量 (製作数:3箇所)
- 2-FB 100×6×269 (SS400)
 - 1-FB 100×6×263 (SS400)
 - 1-FB 100×6×200 (SS400)
 - 2-BN M12×35 (SUS) <2W付>
 - 2-BN M12×40 (SUS) <2W付>
 - 2-ホールインボルト M12×100 (SUS)

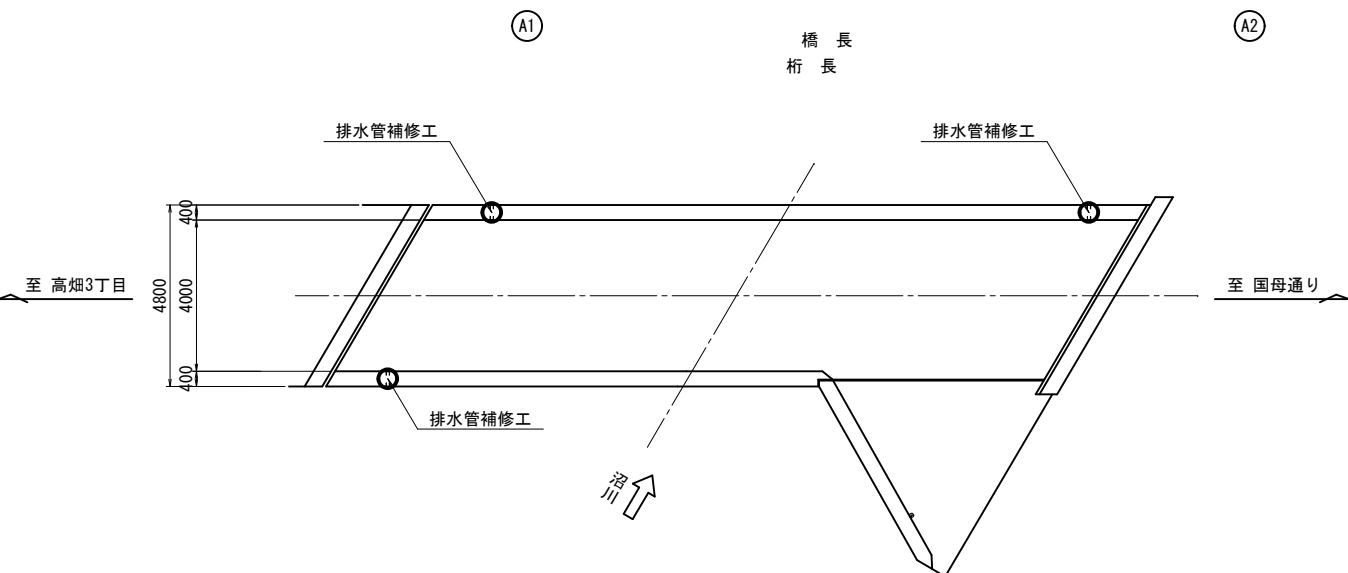
平面図 A1 (A3) ・ S=1:10 (20)



平面図 A1 (A3) ・ S=1:10 (20)



位置図 A1 (A3) ・ S=1:100 (200)

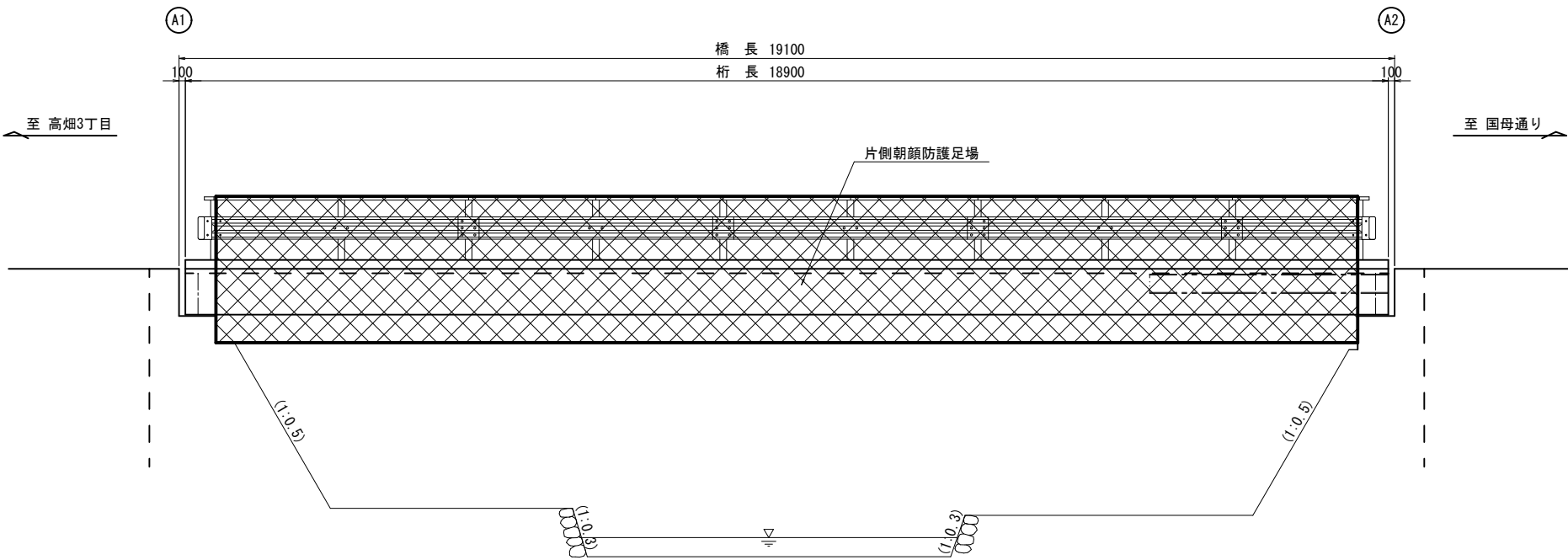


- <注記>
- 現場施工・製作にあたっては現地計測を行い、寸法の決定を行うこと。
 - 鋼部材の表面処理は、溶融亜鉛メッキ仕上げ (HDZ55) とする。また、排水管接合ボルトはSUS304とする。
 - アンカー用削孔時に既設鉄筋と干渉しないよう、鉄筋探査等の対策を施すこと。

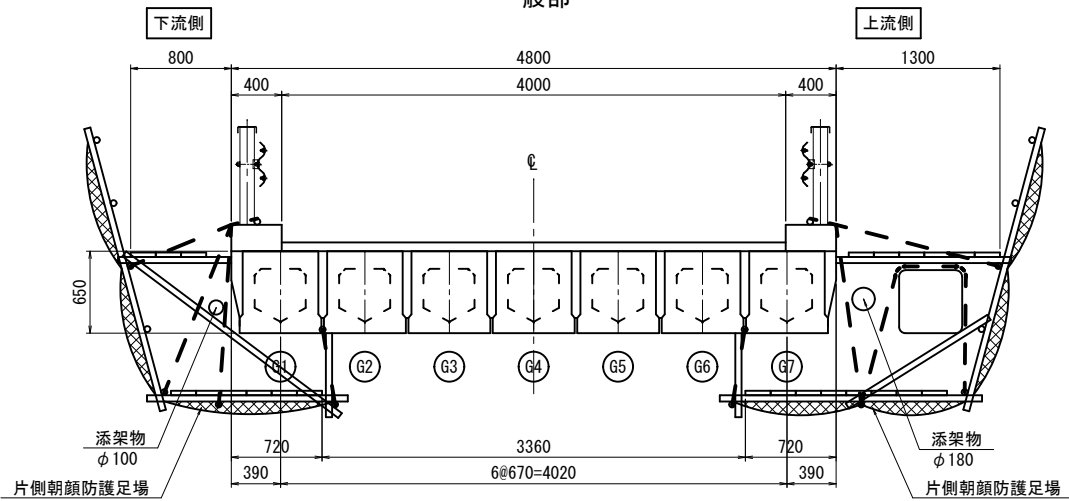
工 事 名	橋梁補修工事 (R5-2)		
工事場所	甲府市 高畑三丁目 地内 外		
路 線 名	市道 高畑二日市場線		
図 面 名	手引橋 排水管補修工詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	11/12
会 社 名	大日コンサルタント(株)		
	甲	府	市

手引橋 仮設計画図(参考図)

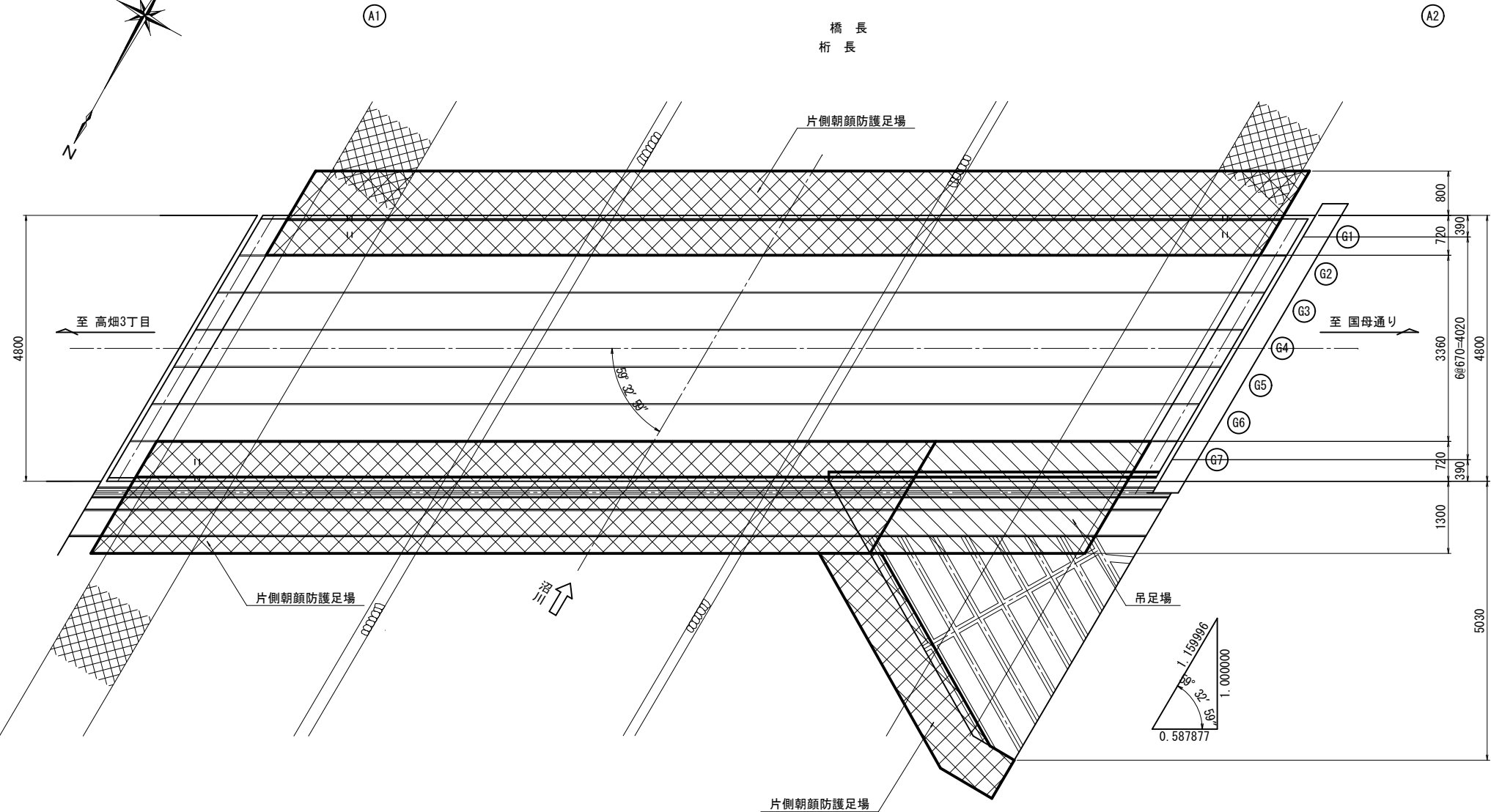
側面図 A1 (A3) ・ S=1:50 (100)



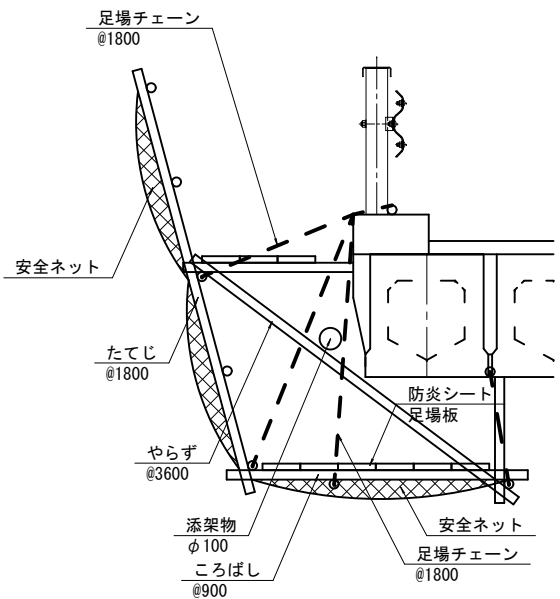
断面図 A1 (A3) ・ S=1:30 (60)
一般部



平面図 A1 (A3) ・ S=1:50 (100)



部分詳細図 A1 (A3) ・ S=1:20 (40)



仮設工 数量表

名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
吊足場	TYPE A	m2	10	
片側朝顔防護足場	TYPE E	m2	50	シート張り防護

工 事 名	橋梁補修工事 (R5-2)		
工事場所	甲府市 高畑三丁目 地内 外		
路 線 名	市道 高畑二日市場線		
図 面 名	手引橋 仮設計画図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	12/12
会 社 名	大日コンサルタント(株)		
	甲	府	市